

日本を愛し、日本人に愛された英国人。

日本民藝館所蔵 生誕 130年

バーナード・リーチ展

Bernard Leach 130th Birth Anniversary Exhibition

2017
4/15 [土] - 6/4 [日]

- 開館時間 午前9時 - 午後5時 [会期中無休]
- 会期中の毎週金曜日は午後7時まで閉館 ● 入館は閉館の30分前まで
- 観覧料 一般 600円 / 前売 20名様以上の団体料金 400円
※次の方は無料です ● 大学生以下 ● 学校教育活動での引率者
- 障がいのある方、要介護者等およびその介護者 ● 70歳以上の方
- 会場 鳥取県立博物館 (第1特別展示室)

主催 鳥取県立博物館、NHK鳥取放送局、NHKエフエーエーエー(公財)日本民藝館 制作協力 NHKプロモーション
協賛 日本通運、株式会社モリタシステム、三和商事株式会社、株式会社吉備総合電設(社) 西郷工業の郷あま化びく



東洋と西洋、技と心の結晶。

幼少期から幾つかの異なる文化を持つ国や地域で過ごしたバーナード・リーチ(1887年~1979年)。その体験は、リーチのその後の人生に大きな影響を与え、やがて東洋と西洋の文化の融合—東と西の結婚—という理想へと発展していきました。

ロンドンの美術学校で学んだリーチは小泉八雲の著作を愛読し、1909年に憧れの日本に再来日します。そこでリーチが開いたエッチング(銅版画)教室に生徒として参加したのは、同年代の日本の若者たちでした。やがて柳宗悦(1889年~1961年)ら雑誌『白樺』の同人をはじめ、ともに陶芸の道を歩むことになる富本憲吉や濱田庄司らと交友します。とくに日本民藝館を創設する柳宗悦とは、芸術や宗教など精神世界を語り合う友として生涯を通じて交流を深めました。さらに柳との交友を通じて民藝運動にも深く参画したリーチは、日本各地の窯場を訪ねて技術指導をし、自らも作陶しています。鳥取・島根両県へも戦前・戦後に幾度か足を運び、作陶指導などを行いました。

2017年はバーナード・リーチ生誕130年の記念すべき年に当たります。本展では、日本最大のリーチ・コレクションを誇る日本民藝館所蔵品の中から、リーチの最初期から晩年までの陶磁器を中心に約200点の作品や資料を一堂に展覧し、日本人に愛された英国人バーナード・リーチの芸術活動を振り返ります。



130th Birth Anniversary Exhibition

◎関連プログラム

※スペシャルギャラリートーク

「リーチ作品の魅力を語る〜その思い出とともに」

生前のリーチと親交のあった陶芸家の山本教行氏(1948年~)を

講師に迎え、リーチとの出会いなどについて講堂でお話いただいた後、

展示会場にてリーチ作品の技法的特徴や魅力について解説していただきます。

日時:4月15日(土) 14:00~15:00 ※14時に2階講堂にお集まりください。

会場:2階講堂、本展展示会場(要観覧料)

講師:山本教行氏(陶芸家・クラフト館岩井窯主宰) 定員:250名(申込不要・先着順)

※特別講演会

「バーナード・リーチの生涯と芸術」

日時:4月22日(土) 14:00~15:30

会場:2階講堂(参加費無料)

講師:鈴木禎宏氏(美術史家・お茶の水女子大学准教授)

定員:250名(申込不要・先着順)

※ギャラリートーク(本展担当学芸員による展示解説)

【夕暮れトーク】

日時:4月28日(金)、5月12日(金)、26日(金)

各日とも18:00~19:00

【土曜日トーク】

日時:4月29日(土)、5月20日(土)、6月3日(土)

各日とも14:00~15:00

会場:本展展示会場(要観覧料) 定員:なし

※貴重なSPレコード音源と映像で楽しむ

「Leach, 河井寛次郎, 濱田庄司, 柳宗悦司会・座談会」(日本民藝館制作 約23分)

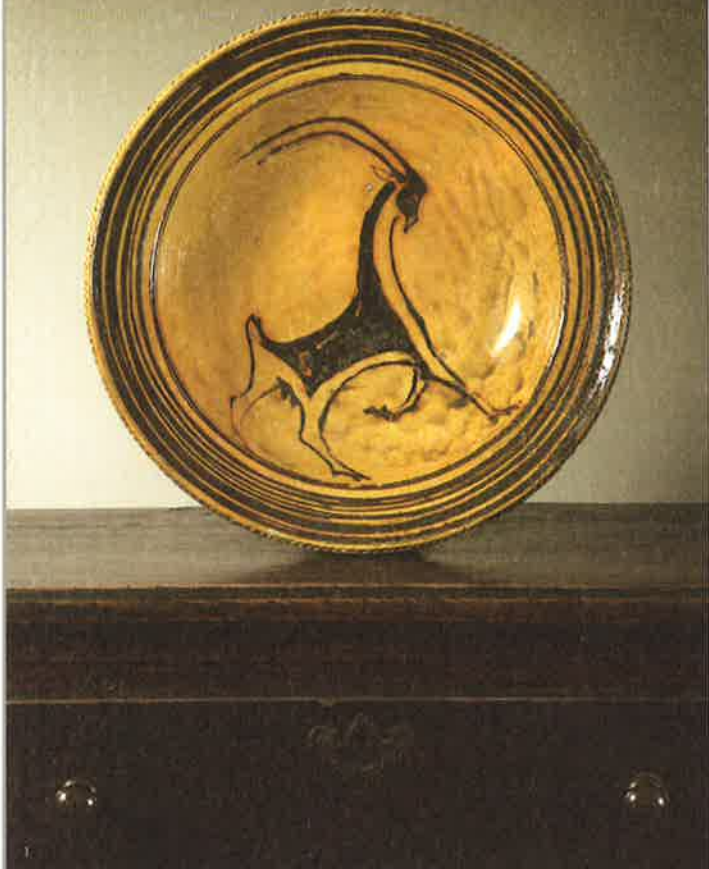
旧柳宗悦邸修復工事の際に発見された、1953年に行われた4人の座談会を記録した

SPレコード音源をもとに制作された映像(DVD)を上映します。

4人が語り合う音声記録は他に見つかっておらず大変貴重です。1日3回の上映です。

日時:5月6日(土)、27日(土) ①11:00~11:40 ②14:00~14:40 ③15:00~15:40

会場:2階講堂(参加費無料) 定員:各回250名(申込不要・先着順)



- 1 ガレナ軸筒描山羊文皿(セントアイヴス 1952年)
- 2 乗付形絵樹下趣人図皿(東京、麻布 1920年)
- 3 鉛筆筒描井戸文陶板(島根、布志名 1934年)
- 4 鉄砂顔合陶板 馬(セントアイヴス 1928年)
- 5 鉄砂絵選礼文皿(セントアイヴス 1960年)
- 6 緑釉飾描水注(大分、小滝田 1954年)、7 柳宗悦像(1918年)

※本展は、日本民藝館が監修し、鈴木禎宏氏(お茶の水女子大学准教授)より学術協力をいただきました。



交通のご案内

- JR鳥取駅から
 - ▶バスで ①100円バス「くる梨(緑コース)」で「①仁風園・県立博物館」下車すぐ
 - ②ループ麒麟獅子「③鳥取城跡」下車すぐ ③砂丘、湖山、賀齋方面行「西町」下車 約400m
 - ④市内回り岩倉、中河原方面行「わらべ館前」下車 約600m
 - ▶タクシーで約10分
 - 鳥取空港から ▶鳥取駅行空港連絡バスで「西町」下車 約400m
 - お車で ▶鳥取自動車道・鳥取ICより約15分
- ※当館駐車場21台駐車可能(なるべく公共交通機関をご利用ください)

【いっしょにみてみて、もくようび。】展示室に小さなお子様と一緒においでいただき、気兼ねなく作品鑑賞をしていただくための時間として、会期中の毎週木曜日の午前中を「子どもと一緒に鑑賞優先時間」としています。ベビーカーを押し、ぜひお越しください。

〒680-0011 鳥取市東町2-124 Tel:0857-26-8042 Fax:0857-26-8041
<http://www.pref.tottori.jp/museum/homepage.htm>
 E-mail: hakubutsukan@pref.tottori.jp

リーチさんのカレーに舌鼓!

本展会期中、当館内のカフェ・ダールミュージエでは、リーチが残した「ライスカレー」のレシピ(海老入りカレー)を再現したカレーをご用意しています。ぜひお召し上がりください。

◎連携プログラム 民工芸に魅せられて

~春!鳥取まちなかミュージアムめぐり~開催

本展開催に合わせ、鳥取市内の下記ミュージアムでも民工芸に関連した展覧会などを開催しています。詳しい内容は各ミュージアムにお問い合わせください。

開催館: 池本喜巳小笠原真美術館、仁風園、鳥取市歴史博物館、鳥取民藝美術館